

# 首都圏段戸会会報

平成21年9月  
第24号

発行責任者 首都圏段戸会 会長	永田 宏
編集発行人 広報担当	磯尾 進

## ご挨拶

首都圏段戸会会長 永田 宏 (高11回)



グローバル経済への収斂のスピードが速過ぎたのか、それともそれを動かすシステム上の不備の修正に問題があったのか、世界中が未曾有の変調の中で苦闘を始めて早くも一年になります。長期継続の好況の反動が大きな不況のうねりとなつて、皆さんの実生活面にもいろいろな変化の現象が表れていることと思えます。

そんな苦しい時代にあつても、我等が岡崎高校が、爽やかにも着実に発展を遂げていることは、同窓生一同にとって大変誇らしくも喜ばしいことでもあります。殊にメディアに取り上げられるようになった母校の知名度は全国的に広がりました。コーラス、受験の成果に続いて、スポーツ、芸術そして環境改善、社会貢献での活躍のニュースがメディアを賑わせ

てくれるのではと、皆様も内心大いに期待していることでしょう。発展を続けるためには、現実の充分なる理解の上立って、設定した目標に向って弛まぬ努力を続けることが肝要であると、母校が我々に語りかけてくれています。後輩達に負けないよう、我々もそれぞれの目標に向って前向きに取り組んで行きましょう。

そんな刺激を受けることが出来る首都圏段戸会の総会が行われる時期がやってきました。世話人一同力を合わせて、皆さんから「流石、首都圏段戸会！」と高く評価して頂くように準備を進めています。同期生、先輩、後輩をお誘い合わせの上奮ってご参加いただき、母校の校歌の大合唱で気持ちも新たになって頂きたいと願っています。

## D-misoプロジェクト活動報告

～皆で大豆を育てて赤味噌を作ろう！～

皆で大豆を育てて赤味噌を作る「D-misoプロジェクト」が始動しています！

参加を表明いただいたのは高3回から高58回までの幅広い首都圏段戸会の有志約80名。カクキューさんのご協力により、大豆「フクユタカ」の種子が5月下旬より参加者に栽培マニュアルとともに発送され、畑、庭、プランターなどで各自栽培が始まっています。事務局メンバーによる大豆栽培の様子は、D-misoプロジェクト2009ブログ (<http://d-miso.jugem.jp/>) でレポートしていますので、ぜひご覧ください。すくすく育つ様子が愛らしく、自然の恵み、いのちの力を感じられます。

順調にいけば（夏の枝豆の時点でビールのつまみで食べないように我慢するのがポイント!?!）、10月下旬には収穫でき、31日の首都圏段戸会総会の場で収穫された大豆が集められる予定です。その後、岡崎のカクキューさんに運ばれ、赤味噌として仕込まれることとなります。世代を超えた新たな取り組みに、皆さん、どうぞご注目ください。

報告：長野（高42回）

D-misoプロジェクトに関するお問い合わせは  
事務局 (d-miso@mlist.ne.jp) まで！



特集

人生お楽しみ中!

地域活動の楽しさ

高6回 有馬 弘政

横浜は今年開港150周年、行事も多  
くひとり大騒ぎをしております。現在は  
世界同時不況の最中、しかし横浜はこ  
時とばかり外への発信で一生懸命です。

さて私も横浜に来てはや35年が経過し  
ました。この地はJR山手駅の丘の上で  
文教地区。小、中、高校、6校の生徒さ  
ん、Y I S、S M U Sの外人の子弟など  
朝夕は学生さんで駅はいっぱいです。そ  
の山手駅が改札口は北側1ヶ所のみで、  
駅舎の中央部は民家もなく付近はごみ捨



左端 有馬さん

水遣りに参加するなど、  
駅長さんも、中区長、土  
木事務所も自慢話で会話  
が始まります。  
行事ごとは一人でやら  
ないこと、多くのひとに  
参加させ、仕事をさせる。  
これは段戸会も同じです。  
村木事務局長はまさにオ  
ールランドプレーヤーで

て場粗大ごみの山でした。地元自治会長  
を押し付けられて28年、近隣4ヶ町をま  
とめて駅長さんと相談し中区のクリーン  
ナップ作戦と称してごみの撤去と落書き  
消しを生徒さんと地元お年寄り、子供会  
に参加を要請して片付けました。その後  
に駅舎の壁に隣接中学校の生徒さんに横  
浜開港時の錦絵を描いてもらい額縁に入  
れた大作は巾20m×高さ2.3m、開港15  
0周年行事の参加作品として、現在設計  
中の新駅舎完成後も残してくれるよう  
です。

此処までするとごみ一つなく落書きす  
る人もいません、地域の目があるからで  
す。地域、学校、行政、3者が一体にな  
り出来た数少ない成功例です。普段あま  
り目立たない美術部、学校側の喜び、中  
学生に負けずに小学生が足もとの花壇の

隠居の暮らし方

高8回 田中 厚生

年寄りから若手まで誰とでも話が出来  
る。女性の登用/前向きな山田さん、正  
確な議事録をまとめる上田さん/余暇で  
音楽やフラダンスなど教えてくれる人が  
好まれ、段戸会の男性たちは地域活動に  
すんなり入っていけるかどうか…巾は広  
いです。

隠居という言葉には「ひっそり暮らす」  
という語感がある。隠居歴八年の私の暮  
らしは結構賑やかだ。多分、正しい隠居  
の暮らし方をしていないのだろう。陳腐  
ながら活気に満ちた私の「正しからざる  
隠居暮らし」を紹介したい。

引退間近の頃、ある先輩が屢々私の職  
場を訪問された。昔話のお相手をしなが  
ら「淋しそうだな」と思った。お陰で引  
退後は過去と決別する決心ができた。幸  
い私は逆境に強い三河人だ。第二の人生  
をゼロからスタートするこ  
とにした。暫くは旅行など  
をして脳天気にならして  
いたが、やはり仲間が欲し  
かった。真剣に取り組む課題  
も欲しかった。そこで、地



手作りのテキスト



元のシルバー人材センターの会員になっ  
てみた。  
運良く、新設のパソコン教室で講師を  
務めることになった。爾来、概ね毎月一  
講座を担当している。一講座は3時間×  
4回であるが、仕込みにその10倍以上の  
時間が必要だ。テキストを自作すること  
もある。教室の施設の維持管理も担当し  
誠に忙しい。しかし、受講者が新しい体  
験を喜んでくれる姿が何よりの報酬だ。  
その後、訪問指導や自分史の編纂支援  
なども行うようになり、非常に多くの  
方々の知遇を得た。満州開拓、大学教授、  
作家、医師、船長など多様な人生経験を  
持った方々との交流は誠に楽しい。

この年になっても未知の領域はいくら  
でもある。チャレンジすべき課題が常に  
ある。そして、地域社会で少しだけ頼り  
にされるようになった。本当によかった  
と思っ  
ている。

なぜこの仕事を? — 官庁の巻

夢を追う仕事…

それが公務員

高41回 重徳 和彦



子どもが「将来は公務員になりたい」と言う  
と、「夢がないね」と大人は言います。しかし、あえて断言したい。「公務員は、日本を良い国にする」というとつてもない、そして果てしない夢を追う仕事である」。

私の夢。それは、日本中の人たちが心豊かに生活できるニッポンづくりです。

日本社会が、モノやカネで満たされることを追い求めてきた時代がありました。最近TVドラマ化された「官僚たちの夏」では、昭和30年代、日本を欧米に負けぬ経済大国にするために奔走するアツい官僚たちが描かれています。実際、諸先輩方の努力のおかげで、日本はそうした豊かさを手に入れました。

しかし最近のニッポンを見ると、若者が求めているのは、モノでもなければカネでもない。クルマも買わない。都会の若者が、過疎の農村のために何かしたいと思っている。発展途上国を支援するNPOで国際貢献してみたいと思っっている。こんなことは、50年前の日本ではあり得ませんでした。日本は着実に進化を

遂げているのです。

より良い社会をつくるため、子どもたちの将来のため、自分にできることが何かないか。多くの人たちが自己実現をめざす姿は、成熟国家ニッポンのあり方だと私は考えます。

ここで大切なのは、行動を起こす人びとの「心」です。「官僚たちの夏」の頃と違い、法律や制度、予算をいじくるだけでは、社会は変わりません。なぜなら、制度や予算では「心」が動かないからです。人が動くには、人の心が動かなければなりません。そして、人の心を動かすのは、また人の心です。

こんな時代の公務員は、多くの人たちと想いを共有し、ともに行動する新しいスタイルを模索しなければなりません。公務員だって一住民なのだから、率先してNPOやボランティアに取り組みすべきではないか? こうした考えを持つ全国の国・地方の公務員による『地域に飛び出す公務員ネットワーク』が昨年発足し、数百人規模になっています。

公務員は、次の時代をにらみ、常に新しいことを考え、チャレンジし続けることが求められる仕事だと思います。前例踏襲だとか、事なかれ主義だとかいう仕事では、国民の期待に応えることはできません。

多くの人たちと一緒に夢を追いかけ、心豊かに生活できるニッポンづくりのため、とにかく前例なき「あの手この手」でやっついていこうという気持ちでいっぱいです。(日々の思いはブログ「しげ

ちゃん工房」 <http://blog.livedoor.jp/shigetoku2/>を(1)覧下さい。

自分を見つめた歩み

高50回 鳥居 福代

私は現在、特許庁で特許の審査をしています。入庁して6年目になります。最初の4年間は審査官補として研修や指導を受けながら審査をしていましたので、やっとひとり立ちをしたところです。今回、このような機会を頂いたので、高校生の時から今に至るまでの私の進路選択をお話させていただきます。

高校一年生の時、私は数学の先生になりたかったので理系を選択しました。2年生の時に生物で遺伝子(DNA)を学び、生命科学に興味を持ちました。病気の人の助けがしたいと思い、エイズの薬を作ることや、岡高の隣にあった分子研で研究することを夢見るようになりました。病に苦しむ人の助けになりたいという思いはその後もずっと持ち続け、大学では、農学部の研究室で、筋肉が変性し弱ってしまう病気である肢体型筋ジストロフィー症の原因タンパク質に関する研究をしました。この研究をさせて頂いてとても幸せでしたし、夢が叶った充実感もありました。一方で、実用化され、患者さんの助けとなるような研究成果が得られるまでの道のりはとても長いこと、また、研究をするには多大な努力、発想力、忍耐力が必要であることを痛感しました。



早め出勤派 まだ空調が...

大学院修士課程の半ば頃、発想することよりも与えられたテーマの中で工夫することの方が得意な私は、研究者として向いているだろうか? と疑問を持つようになりまし。そして、自分について考えました。私は、いろいろなことに興味関心があり、知ることが好きです。例えば、科学を学ぶと身近な現象や普段使う道具の仕組みが理解でき、また、言葉の語源を知ると、その言葉の意味合いや雰囲気を感じられるようになり、日々の生活がより楽しくなるからです。

このように自分を見つめながら就職を考え始めた時に出会ったのが特許庁でした。これまで学んだことを生かせる職業ということで、私にとって大変魅力的でした。そして、今に至ります。審査は仕事ではありませんが、毎日接する様々な発明から、楽しく、興味深く勉強させて頂いています。そして、幸運にも、医薬発明などの審査に携わっているのです。特許査定をした発明が多くなると、笑顔につながることを願いながら仕事をしています。

## 第37回首都圏段戸会総会・懇親会のご案内



●日 時 平成21年10月31日（土）13：30～17：00

●場 所 アルカディア市ヶ谷（私学会館）（右地図参照）  
千代田区九段北4-2-25（TEL 03-3261-9921）  
JR市ヶ谷駅から徒歩2分  
地下鉄市ヶ谷駅（有楽町線、南北線、新宿線）  
から徒歩2分

●講演会 テーマ：「プリウスの開発と車の電動化社会を迎え」  
講師：関森俊幸氏（高19回）(株)豊田自動織機 専務取締役  
講師略歴：

1972年 名古屋大学工学部電気工学科卒業  
同年 トヨタ自動車工業(株)（当時）に入社  
約20年間補機系電気システム部品開発に従事  
1991年 米国カリフォルニア州のZEV規制対応として電気自動車開発及び  
ハイブリット車の開発を担当  
2004年 (株)豊田自動織機に転出し、パワーエレクトロニクス部品及び研究開発全般を担当、  
現在に至る

●会 費 巷間100年に一度の経済危機とされています。そのような状況に鑑み、今年度は特別に、  
一律1,000円を減額します。ただし学生割引を除きます。

男 性 8,000円 → 7,000円 女 性 6,000円 → 5,000円

☆割引制度

- ・古稀を過ぎた会員（高9回以前） 5,000円 → 4,000円
- ・夫婦割引 同伴の女性会員は半額の 3,000円 → 2,500円
- ・若手割引（高47回以降） 5,000円 → 4,000円
- ・学生割引 1,000円

☆ご招待制度

- ・古稀を迎えられた会員の方は、ご招待（会費無料）とさせていただきます。
- ・今年度対象者：高校10回（昭和33年3月卒）の皆様

●招聘恩師（予定）

松橋 忠 先生	（保健体育）	植田 喜昭先生	（英語）
平野 晃一先生	（数学）	小幡 詩子先生	（国語・漢文）
柴田 哲谷先生	（国語）	日高 慎吾先生	（数学）
藤嶋 典弘先生	（教頭）		

●事前会員登録のお願い

総会・懇親会にご参加頂ける方で、首都圏段戸会の会員登録がまだお済みでない方は、お手数ですが、首都圏段戸会ホームページ（<http://homepage3.nifty.com/dandokai/>）の「会員登録・変更」のページから事前にご登録頂ければ幸いです。

## 第36回(H20年) 首都圏段戸会総会出席者

(校長)	鈴木一男	(高16回)	鈴木貞雄	鈴木弘恵	木村美穂子	森川さとみ	
(恩師)	岩城浩		野村親信	丸山和紀子	米津智徳		
	祖父江義信	(高17回)	伊与田正彦	佐伯寛子	(高31回)	畔柳健二	畔柳博史
	水野謙二		酒井照代	鈴木啓之		高原正之	野木村美紀
(高2・中5回)	青山敦夫		鈴木光治	鈴木寛		藤井義之	
	太田久		竹嶋栄子	廣田幸子	(高32回)	鈴木達朗	堀内友二
(高3・併23回)	伊藤芳枝		深谷美智子	武藤隆子	(高34回)	板谷敏正	井上由美子
	小澤一郎		山田博子			山下薫	吉村玲子
	久保雅之	(高19回)	安藤昭	石樽直美	(高35回)	岡根芳樹	菅伸介
	鈴木亮		岡部芳郎	坂田徳雄		佐藤千矢子	鈴木俊英
	高井美智子		宍倉由美子	高橋伸芳		竹尾誠	古澤昌宏
	蜂須賀芳昭		竹内由紀江	都築正行		堀部真奈美	
	柳澤玖枝		中島邦子	則竹千恵子	(高37回)	野々山尚毅	
(高6回)	有馬弘政		福山透	宮崎収兄	(高38回)	中西和幸	
(高7回)	市川毅		村木央明		(高40回)	大田武	織田明久
	近藤衛	(高20回)	天野隆太郎	伊与田あさ子		長野拓也	八田創
	杉山修		遠藤昇	神尾由恵		安田幸代	
	永田綾子		北野光敏	関戸博高	(高41回)	磯谷陽子	
	羽谷允		辻村貴典	兵藤秀和	(高42回)	小西玄一	長野麻子
	村田與市		三浦美知子	矢吹清	(高43回)	八田益之	吉村靖孝
(高8回)	安藤逸平		山本良二	吉原誠	(高44回)	安藤穰	松尾直樹
	近藤忠男	(高21回)	渥美忠男	内山田邦夫	(高45回)	川島雄一郎	辻内理枝子
	外村仁		清水照雄	鈴木恭子		筒井貴之	西浦瑞恵
	西山啓二		関田久美子	徳田登	(高46回)	浅井太郎	朝岡大輔
(高9回)	岡田敏夫		丸川美雪	矢田金市		大川博	杉浦清美
	高木治子		山田俊文		(高48回)	角田高志	
(高10回)	木村富司雄	(高22回)	青山裕治	上田洋子	(高49回)	栗谷さやか	三浦祥子
(高11回)	青木かゑ子		斉藤光保	中村賢治	(高50回)	鳥居福代	
	今井哲夫		程田さとる		(高51回)	山下健一	
	杉山樹三郎	(高23回)	天野隆司	清水郁夫	(高52回)	井上雄太	今泉佐和子
	中根淳	(高24回)	三浦修嗣			今泉貴雅	矢嶋裕子
	橋本晃芳	(高25回)	稲垣智子	岡田芳明	(高53回)	上野傑	小野靖王
(高12回)	稲垣早苗		戸田讓三	戸田妙子		野場康德	山本愛
	鶴田文男		中根千恵子	樋江井和徳	(高54回)	安藤美保	安藤康伸
(高13回)	新井康夫	(高26回)	石橋容子	織田利彦		金森拓也	祖父江康宏
	神道千秋		高橋芳子	中嶋克宜		山本淳子	
	鈴木幹也		松井源治	山口知子	(高55回)	楠崎健太	
	牧武司		山本修己		(高56回)	清水あゆみ	鈴木太介
(高14回)	天野彰	(高27回)	大久保玉恵	杉浦ひとみ		塚本遥	松井孝憲
	磯村澄江		高木正己	宮川龍也		三浦哲志郎	山田修司
	大館眞弓		山崎正枝		(高57回)	小田亜矢子	加納実久
	斉藤幸夫	(高28回)	石田邦雄	酒井邦彦		香村匠子	近藤宏樹
	金澤忠幸		三枝奈芳紀	竹内彰	(高58回)	鈴木菜穂子	鳥山順丘
	水谷鏡子		中嶋誠子			西野明日香	
(高15回)	天野道夫	(高30回)	荒川裕子	上野典子	(高60回)	篠原国智	杉浦綾香

## 運営基金協力のお願い

首都圏段戸会会長 永田 宏

平素より首都圏段戸会の発展にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

皆様のご支援のお陰で、近年、会の活動は質量ともにますます充実してきています。年1回の総会・懇親会の出席者は年々増加し、その他にも、登山や音楽など同じ趣味を持つ会員が交流する段戸サークル、幅広い分野で活躍する第一人者の会員を講師に招き受講者と交流する段戸フォーラムなどの行事に、多くの会員の方々が参加されています。

また、ホームページでは会員の方々の活躍を紹介したり、エッセイを掲載するなど、内容の充実に努めています。会の持続的発展のため、若い世代にも関心を持ってもらおうと、年2回発行の会報を全在校生に届けたり、首都圏の大学を目指す在校生にオープンカレッジとして学内を案内するのも、大切な活動です。

これらの活動を支えているのは、皆様からご提供いただく運営基金です。会では特別の年会費制度を設けていません。総会・懇親会の参加者からいただく会費は、総会・懇親会の開催費用に充てられます。会報などの印刷費、郵送費、会の運営について相談する世話人会の会議費などは、すべて運営基金でまかなわれています。

ご寄付を含め、平成19年度は422名の方から総計1,386千円、20年度は430名の方から1,382千円の運営基金をいただきました。本年度も会を支援する輪に加わっていただきたく、ご協力をお願い申し上げます。

### 首都圏段戸会会計報告（平成20年度）

#### 貸借対照表

平成20年12月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
I 資産の部		
現 金	30,220	
通 常 貯 金	1,433,561	
郵 便 振 替	2,880	
資 産 合 計		1,466,661
II 負債の部		
未 払 金	0	
負 債 合 計		0
III 正味財産の部		
正 味 財 産		1,466,661
負債及び正味財産合計		1,466,661

#### 収支計算書

平成20年1月1日から平成20年12月31日まで (単位：円)

科 目	金 額	金 額
I 収入の部		
総会懇親会会費収入	1,381,500	
運営基金収入	1,382,300	
受 取 利 息	1,541	
当期収入合計		2,765,341
II 支出の部		
総会懇親会費用	1,298,296	
印 刷 費	528,442	
通 信 費	366,505	
世 話 人 会 費	287,800	
雑 費	72,450	
当期支出合計		2,553,493
当期収支差額		211,848
前期繰越収支差額		1,254,813
次期繰越収支差額		1,466,661

#### 監査報告書

首都圏段戸会の平成20年度（自平成20年1月1日至平成20年12月31日）の計算書類は適正かつ正確であることを確認いたしました。

平成21年7月27日

会計監査 丹羽 鼎

会計監査 木村富司雄



## 第15回段戸フォーラム 「わが国経済の再生は可能か」のご報告

我が国の経済は、世界的な金融危機を発端とする世界の景気後退の影響を受け、外需・内需ともに急速な減速局面に入っています。経済危機に翻弄される日本経済はこのままどうなるのか？ なすべき対策はあるのか？ そこで、第15回の段戸フォーラムは、経済分野シンクタンクの第一人者である三菱UFJリサーチ&コンサルティングの門野氏（高16回）に再登場していただき、未曾有の状況を分析していただきました。当日は愛知県からの飛び入りも含め約40名が参加、同氏の国際的経験に基づく現状分析と、中長期的な視点に基づく世界経済の先行きやそれに関連する日本経済の構造的な問題点と展望についてわかりやすく解説いただきました。最後は“再生のために”をテーマに、この課題にどう対処する



か同氏の見解を説明していただきました。1時間の講演の後は質疑応答が1時間。時の経過も忘れるほどの熱い討論が交わされました。その後は恒例の懇親会で世代間交流の場が広がりました。



板谷（高34回）

## 段戸「山の会」 2009年春の登山/大菩薩嶺登山のご報告

「山の会」では、甲斐と武蔵の国境に位置し中里介山の小説でも有名な大菩薩峠と、大菩薩山系の最高峰で日本百名山でもある大菩薩嶺に登山してきました。4年前に到達した大菩薩峠を越え、標高2056mの大菩薩嶺への登頂を目指す計画でしたが当日はあいにくの梅雨空に。しかし、参加者各位の日ごろのおこないと強運のおかげで、山頂では奇跡の晴天に恵まれるなど予定通り全員無事到達しました。新緑の下山路は険しい分、満開の山つつじや瑞々しい新緑が心を和ませてくれました。達成感も最高潮のうちに下山し、登山口の茶屋で盛大な反省会を開催。生ビールと地元の日本酒で長い一日をしめくりました。今回は高11回から現役学生会員まで15名の幅広い世代が参加し、次回の登山での再会も誓いあい、帰途につきました。山の会では春と秋の定期的に行方を実施しています。ご興味のある方は是非ご参加ください。



板谷（高34回）

### 平成21年度世話人

- (高2回) 服部 登
- (高3回) 丹羽 鼎 会計監査
- (高6回) 有馬 弘政
- (高7回) 村上 滯子
- (高8回) 杉浦 嘉久
- 田中 厚生
- (高10回) 木村 富司 雄 会計監査
- (高11回) 永田 宏 會長
- 中根 淳
- (高12回) 鶴田 文 徹
- 成瀬 弘
- (高13回) 藤田 訓 弘 広報担当
- (高14回) 磯尾 進 副會長
- 水谷 鏡子
- (高15回) 満江 信之
- (高16回) 鈴木 貞雄
- 野村 親信 副會長
- (高17回) 伊与田 正彦
- 佐伯 寛子
- 山田 博子
- (高18回) 山内 恵
- (高19回) 都築 正行
- 福山 透 情報担当
- 村木 央明 事務局長

- (高20回) 天野 隆太郎 副事務局長・企画担当
- 辻村 貴典 副事務局長
- (高21回) 清水 照雄 企画担当
- 丸川 美雪 会計
- 山田 俊文 情報担当
- (高22回) 青山 裕治 副事務局長・会員担当
- 上田 洋子 副事務局長・書記
- (高23回) 野々山 浩 会計
- (高25回) 戸田 讓三 副事務局長・企画担当
- (高26回) 織田 利彦 情報担当
- 山口 知子 書記
- (高27回) 山崎 正枝
- (高28回) 石田 邦雄
- (高30回) 米津 智徳
- (高31回) 畔柳 博史
- 高原 正之 企画担当
- (高32回) 堀内 友二 企画担当
- (高34回) 板谷 敏正 企画担当
- 井上 由美子 企画担当
- (高35回) 佐藤 千矢 会員担当
- 菅 伸介
- 古澤 昌宏
- (高38回) 中西 和幸
- (高40回) 大田 陽武
- (高41回) 磯谷 陽子 企画担当
- 重徳 和彦

- 平山 健二 広報担当
- (高42回) 長野 麻子 情報担当
- (高43回) 八田 益樹 情報担当
- (高44回) 松尾 直樹 情報担当
- (高45回) 筒井 貴之 情報担当
- 西浦 瑞恵
- (高46回) 朝岡 大輔
- 小椋 博
- 杉浦 清美
- (高47回) 杉本 桂子 情報担当
- (高49回) 三田 福代
- (高50回) 鳥居 泰典
- 前田 泰典
- (高51回) 加藤 千晴
- 細田 晃展
- (高52回) 今泉 貴貴
- 加藤 祐
- (高53回) 上野 傑
- (高54回) 安藤 美保
- 山田 英嗣
- (高55回) 中島 実久 広報担当
- (高57回) 加納 実久
- (高58回) 門池 金八
- (高60回) 篠原 国智
- 杉浦 綾香

### 《サークル活動》に関するお問い合わせ 皆さまの参加をお待ちしております！

#### “段戸囲碁会”

(代表：藤田 訓弘 高13回) kfujita@muc.biglobe.ne.jp

#### “段戸華教室”

(代表：西浦 瑞恵 高45回) usagi-m@msg.biglobe.ne.jp

#### “段戸音楽会”

(代表：山田 博子 高17回) marcialgow2w-danon3@memoad.jp

#### “段戸俳句会”

(代表：小森 葆子 高13回) shigeko\_komori@ybb.ne.jp

#### “段戸「山の会」”

(代表：板谷 敏正 高34回) itaya@propertydbk.com

#### “段戸ゴルフ会”

(代表：木村富司雄 高10回) BYR10566@nifty.ne.jp

「首都圏段戸会」公式ホームページ <http://homepage3.nifty.com/dandokai/>  
メールアドレス [nqd28299@nifty.com](mailto:nqd28299@nifty.com)